高梁川流域キッズ

高梁川流域の
伝統的な行事と芸能

みやざ
宮座

新見市　高梁市　総社市　早島町　倉敷市　矢掛町　井原市　浅口市　里庄町　笠岡市

関係のある場所

- 氷室神社
- 亀尾神社
- 倉嶋神社

この行事について

平安時代のころ、土地の代表が集まって、その土地の神様を祀り、心のよりどころにして、団結と権威を主張したのが「宮座」の始まりです。氷室・亀尾の２社の宮座は当時と同じ形で儀式が行われています。昔は地域内に耕作田を持つ家は、地域の寄子として祭礼に奉仕していましたが、現在は地区単位で祭礼に参加しています。

「宮座」は、神様の接待役で、宮司と３家が担当します。本座は、横座ともいい、６人の名主の席で鈎形に座り、給仕人は寄子が担当します。

倉嶋神社では、毎年旧暦の９月１９日に順番で担当を回し、担当となった家により神社の拝殿で行われています。「宮座」は、１６名で構成され、それぞれ決まった座につきます。本殿と向かい合った本座が権力があるとされていて、座頭が中央の席に座ります。また、ナカ座には客人などが座ります。儀式は、まず座頭が一言を述べると、一同は「おめでとうございます。」と答えて、酌取りのついだ神酒を３献飲みます。以下、カキアイの御礼・サヤマメの御礼・ボウルイの御礼と続き、その度毎に神酒を飲みます。さらにご飯の御礼があり、この間に今年と来年の担当になる家の受け渡しを本殿前の弊殿で行います。最後に１杯３杯の御礼があり、担当となる家の引き継ぎのあいさつをしてお餅を配って終わりとなります。